

平成15年度 予算

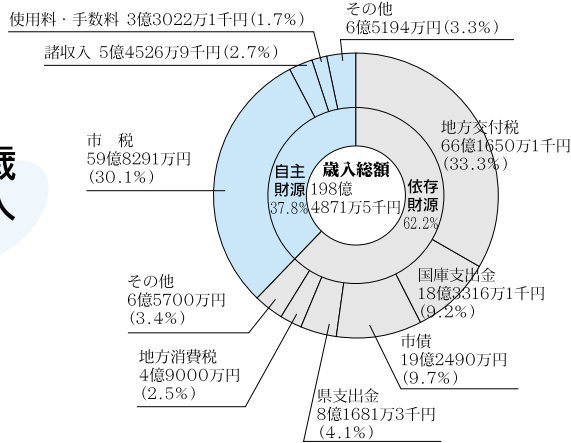


一般会計予算総括表(歳出) 単位：千円

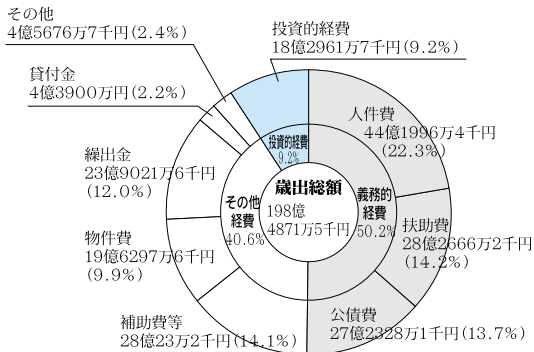
区分	15年度当初予算額	14年度当初予算額	伸率(%)
議会費	288,690	286,512	0.8
総務費	2,200,416	2,251,437	2.3
民生費	5,312,355	5,245,135	1.3
衛生費	2,087,299	2,088,515	0.1
労働費	105,557	111,365	5.2
農林水産業費	505,099	1,259,130	59.9
商工費	789,316	906,156	12.9
土木費	1,659,864	3,092,500	46.3
消防費	906,401	937,858	3.4
教育費	3,119,215	3,094,422	0.8
災害復旧費	1	1	0.0
公債費	2,723,697	2,759,760	1.3
諸支出金	120,805	119,821	0.8
予備費	30,000	30,000	0.0
合計	19,848,715	22,182,612	10.5

一般会計当初予算性質別構成比

歳入



歳出



財政用語
ひとくち解説

一般会計 主に市税をもとに、市が基本的な行政サービスを行うための会計

特別会計 特定の事業について、その歳入と歳出を一般会計と区別して経理する場合に、法律や条例によって設置する会計。本市では、国民健康保険、介護保険など13の特別会計を設置しています。

企業会計 地方公営企業の会計で、独立採算が原則。収益と費用の発生を記帳の基準(発生主義)にするほか、資産や負債については、経費と分離して整理し、その経営成績と財政状況を明らかにしています。本市では、病院事業など3つの企業会計を設置しています。

当初予算 一会計年度(4月1日～翌年3月31日)を通じて定められる基本的な予算

補正予算 年度途中で予算化されるもの

義務的経費 人件費、扶助費、公債費など、支出が義務付けられている経費

投資的経費 建設事業など社会資本として将来に残るもので、道路、学校などの整備経費

依存財源 国や県から交付されるお金や借り入れ金

自主財源 市税など市が単独で賄うことができるお金